

JFA 第 43 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 北海道大会 戦評

2019/10/12~14 室蘭市入江運動公園

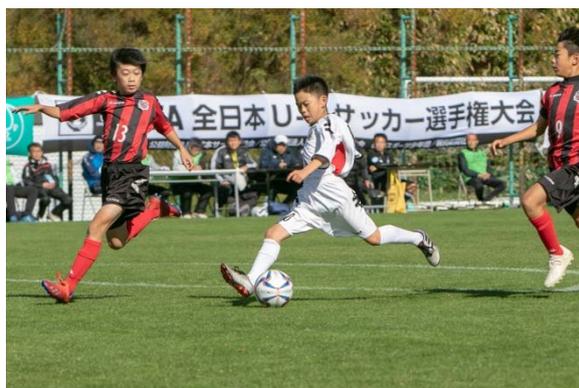
【準決勝 A コート】

«北海道コンサドーレ札幌 U-12BLACK» 0 - 3 «北海道コンサドーレ札幌 U-12»
(0 - 2・0 - 1)

台風 19 号が猛威を振るった影響が心配されたが、風の影響はあるものの無事開催されることとなった準決勝は、昨年同様コンサドーレ同士の北海道コンサドーレ札幌 U-12BLACK（以下ブラック）と北海道コンサドーレ札幌 U-12（以下 U-12）の 1 回戦 2 回戦を共に無失点で勝ち上がってきた好カードとなった。

【 前半 】

やや風が強い中、定刻 13:00 に風下に立った U-12 のキックオフでスタート。BLACK は 3 - 2 - 2、U-12 は 3 - 1 - 2 - 1 のフォーメーション。開始から互いに負けたくないという球際の強さが目立つ。BLACK は 2 分⑨が中央やや左からファーストシュートを放つが惜しくもバーに嫌われてしまう。4 分 U-12 は⑩から⑨へ中央に抜けたボールをペナルティエリア外から左足を強く降りぬき U-12 が待望の先制点を奪う。ここから U-12 の猛攻が続き、左サイド 2 番から供給され⑨のシュートは BLACK⑬が何とかシュートブロック。その直後の 5 分には右 CK⑥からのボールを 4 番のヘディングシュートはミートせず。⑬、⑩、⑨と中央でのワンタッチパスがリズムよく繋がり、⑩のゴールで追加点を奪う。7 分には左サイド②からの大きなサイドチェンジから④、⑨、⑬と多くの選手がプレーに関わり BLACK ゴールに襲い掛かる。一方の BLACK はファーストシュートこそ放ったものの、7 分に⑩からボールを受けた②が中央突破からのシュートは GK 正面。8 分に風上を利用した GK のキックから裏へ抜けた⑦のシュートは枠外と相手コートへの侵入も少なく、終始守備の時間となっていたが、集中力が切れることなく粘り強くゴールを守っていた。U-12 のシュート数 10 本に対し BLACK は 3 本であった。



●ハーフタイム

2 点を追う BLACK は前半の反省をしながら後半の狙いをまずは監督から、そして選手たちでミーティングを行う。「守備に関しては後追いにならないように、さらにしっかり前を狙いながら、攻撃に関してはもっと相手の裏を狙うこと」が確認された。一方の U-12 は 2 点リードしていることもあり、「しっかり相手の出方を見

る。サイドバックをもっと有効に使う。ボランチの配球をはやくしないと、奪われてカウンターを食らう。後半は2トップの関わりが大事になる。」とのアドバイスが出た。

【 後半 】

後半のキックオフはBLACKから。後半最初のチャンスをつかんだのは前半の勢いそのままU-12であった。21分中央⑨から、後半から登場した⑮へのパス。フィニッシュまで持ち込むがGKがファインセーブ。22分右サイドからの攻撃。⑭と⑨とのかかわりから⑥のクロスはGKがキャッチ。BLACKはハーフタイムのアドバイス通りトップに入った⑳の裏を狙いだす。しかし常に相手コートでボールの回収を目指すU-12の早いプレスになかなか活路が見いだせない。システムを3-2-2に変更したU-12はボランチに入った⑨からの展開が多くなるが、2トップの関係が機能していなくなかなか追加点を奪えない。24分⑰から⑭へのパス



はオフサイド。27分サイドチェンジをうまく活用し中央フリーとなった⑰のシュートは枠外。すると30分過ぎBLACKが少しずつ相手コートへ進入し始める。34分には相手CKを奪ってカウンターを仕掛けるが、フィニッシュまで行けず。その直後35分U-12は右CK⑧からのボールを⑤が頭で合わせ3点目を追加。このゴールが試合を決定づける追加点となりU-12が決勝進出となった。

【準決勝 B コート】

«プレイフル函館ジュニア» 1-2 «ASARI Football CLUB»
(0-0・1-1・0-1・0-0)

準決勝 B コートでは、1・2回戦ともに無失点で試合を勝ち上がってきたプレイフル函館ジュニアと、接戦を制してきたASARI FCとの試合になった。

【 前半 】

プレイフルのキックオフで14:00試合開始。プレイフルは3-2-2、ASARIも3-2-2のシステム。

プレイフルは⑩がボールをサイドに動かしながら攻撃を組み立てる。サイドだけではなく、中央で⑩や⑦が縦パスを入れて、もう一度受ける。⑨がサイドから、ペナルティーエリアに侵入し、シュートまでいく場面も見られた。一方、プレイフルの攻撃をASARIは⑤を中心として、体を張り粘り強く守る。守備からの素早い攻撃を仕掛けるASARI、⑩が中央から仕掛けながらサイドに展開し運動量のある⑦が、センターリングを⑨に上げるが合わない。⑨、⑩が中央から仕掛けながら、ゴールに向かうがゴールとはならない。お互いにチャンスをものにできない時間が続いた前半だった。

【 後半 】

プレイフルのハーフタイム、相手の良いところを抑えて、自分たちの良いところを自信をもって、どんどん出そう。後半、人とボールが動き局面を打開してゴールを目指すプレイフルの攻撃的サッカーの時間が続いて行く。後半 2 分、⑧→⑬→⑫→⑦と左サイドから繋ぎ、⑦がシュートをするがゴールを外す。⑧→⑬と左サイドの背後を狙う。それを受けた⑬が中央にドリブルしシュートするがポスト、ゴールとはならない。ASARI も粘り強い守備で対応し、⑩⑨⑦を中心として攻撃をするが、シュートまでなかなかいけない。だんだん運動量が落ちてきた ASARI に対して、プレイフルの攻撃的サッカーは続く。遂に均衡は破られる。32 分プレイフル、⑩が左サイドの⑬へパス。ドリブルでペナルティーエリア中央に入り、シュートしたボールがゴールネットを揺らす。プレイフルの先制点。ASARI も追いつくために、ゴールを目指す、なかなかゴールネットを揺らすことができない。時間は、どんどん過ぎていく。このまま、1-0 で終了かと思われた後半アディショナルタイムにドラマが待っていた。相手のクリアを ASARI①が前線の背後にパスそのパスに、⑦が走り、そのままシュート、ボールはGKの頭上を通り、ゴールネットへ。土壇場で、ASARI がプレイフルに追いつく。後半終了の笛が鳴り、延長戦へ。

【延長前半】

同点に追いついた ASARI のキックオフで延長戦が始まる。4 分相手ペナルティーエリア付近での ASARI のフリーキック⑤がゴールを狙うが枠を外してしまう。プレイフルも⑩を起点に⑬、⑦がボールを受け、シュートするがゴールネットを揺らすことができない。延長前半 5 分、ASARI⑩→⑨へ。⑨がシュート、プレイフルの GK①が弾いたところを⑦が反応し押し込む。ボールは、ゴールラインを割り、ASARI が逆転する。ここで前半終了のホイッスル。

【延長後半】

追いつきたいプレイフルは、攻撃の手を休めずチャンスをつくるが、ASARI のゴールネットを揺らすことができない。ASARI も守備から、素早い攻撃をするが相手に奪われてしまう。このまま時間が過ぎていき、終了のホイッスルになる。

後半のアディショナルタイムに 1-1 に追いついた ASARI が、延長前半で逆転し、2-1 で決勝に駒を進めた。



【決勝】

«北海道コンサドーレ札幌 U-12» 8 - 0 «ASARI Football CLUB» (3 - 0・5 - 0)

決勝戦のカードは札幌地区代表の北海道コンサドーレ札幌 U-12（以下コンサ）と道央小樽地区代表の ASARI Football CLUB（以下 ASARI）の対戦となる。

【前半】

ASARI のキックオフで試合開始。コンサは 3 - 1 - 2 - 1 のシステム。対する ASARI は 3 - 2 - 2 。開始早々コンサは相手ボールを回収した⑨からのボールを受けた⑩がファーストシュート。1 分には CK を奪うが⑥のキックは GK がキャッチ。ボールも人も良く動き⑩、⑩、⑨とワンタッチのリズムで相手コート特にサイドでの攻撃が続く。3 分にも左 CK を奪い②のキックがはじかれたところ⑨が連続でシュートを放つが相手が体を張ったブロックでゴールを死守する。さらにサイドからの攻撃が続き、⑩と⑩のコンビネーションから右サイドを駆け上がった④のクロスはうまく合わず、ASARI は難を逃れる。コンサの素早いプレスでなかなか攻撃への活路が見いだせない ASARI は相手の裏を狙うがなかなかつながらない。6 分には ASARI ⑨が相手のパスをインターセプトし中央やや左からミドルシュートを放つが GK がしっかりセーブ。対するコンサは 7 分右 CK。しっかりと幅を取る中でペナルティエリア内で⑥がシュートを放つが GK がセーブ。さらに 8 分、⑦と⑨のコンビネーションから最後は⑥のシュート。

これもポストに阻まれる。コンサの待望の先制点は 4 本目の CK から生まれる。1 0 分②からのコーナーキックはしっかりと⑨の頭に合い、コンサが先制する。さらに 1 1 分左サイド⑥から⑨へ斜めの鋭いパスが通り、これを冷静に左足でゴールへ流し込み追加点を奪う。対する ASARI も反撃を試みるが、コンサの高い位置での素早いプレスに対応できず、GK からのビルドアップも試みるがなかなか相手コート



トへ侵入できない。1 2 分にはコンサ⑩のミドルシュートはポストに阻まれるが、1 3 分⑨の中央からの強烈なミドルシュートが ASARI ゴールのネットをゆらした。⑨はこの試合ハットトリックを達成する。その後もコンサの猛攻が続き終始 ASARI 陣地内でのサッカーが続いた。

●ハーフタイム

ASARI ベンチからは「相手を怖がらないで闘おう。相手の判断が早いからもっと準備をして、失敗を恐れないでチャレンジしよう」と選手を鼓舞していた。一方のコンサベンチは「チャンスはまだある。パスミスからのカウンターに気を付けること。リスクマネジメントしたポジショニングを取り、切り替えを早くして球際をもっと強く」と 3 点リードした選手たちの気を緩めない声かけられた。

【 後半 】

キックオフはコンサ。開始早々右からの CK を奪い⑭のキックに⑥が合わせるが枠外。さらに右からのサイド攻撃が前半と同じように続き、23分⑭の右 CK から⑤の頭にしっかり合い4点目を奪う。25分の左 CK では競り合いの中で ASARI の GK が足を痛めプレーが中断する。その直後の GK からスタートしたプレーで⑩、⑨、④とかかわりを見せ、中盤でルーズになったボールが⑨の裏に抜ける。そのボールを⑨が左足を振りぬいたシュートはバーを直撃し、待望のゴールとはならない。サイド攻撃を繰り返すコンサは CK のチャンスを多くつかむ。前後半合わせて12本の CK を得るが、この試合で CK からの得点は前後半それぞれ1点であった。それでも、28分には⑨の中央からの仕掛けから⑮へ渡り5点目、33分にも⑭から⑮へ渡り6点目。36分とアディショナルタイムに⑨が追加点を決め8-0で試合が終了し、北海道コンサドーレ札幌 U-12 が無失点で優勝を決め全国大会への出場権をつかんだ。



を多くつかむ。前後半合わせて12本の CK を得るが、この試合で CK からの得点は前後半それぞれ1点であった。それでも、28分には⑨の中央からの仕掛けから⑮へ渡り5点目、33分にも⑭から⑮へ渡り6点目。36分とアディショナルタイムに⑨が追加点を決め8-0で試合が終了し、北海道コンサドーレ札幌 U-12 が無失点で優勝を決め全国大会への出場権をつかんだ。

(文責：室蘭地区サッカー協会技術委員会
三谷 直人・木村隆介)



優勝 北海道コンサドーレ札幌 U-12



準優勝 ASARI Football CLUB



第3位 北海道コンサドーレ札幌 U-12 BLACK



第3位 ブレイフル函館ジュニア